



流山児★事務所2023年秋公演 原作：F・アラバール（出版：思潮社、翻訳：若林彰） 構成・演出：流山児祥
2023年9月25(月)～10月2日(月) @Space早稲田

流山児★事務所2023秋公演 瓦礫のオペラ★戦場のピクニック

原作：F・アラバル（出版：思潮社、翻訳：若林彰）構成・演出：流山児祥

【瓦礫のオペラ★戦場のピクニック】

朝鮮戦争勃発を受けF・アラバルが1952年に発表したデビュー作。世界演劇に衝撃を与え最も上演されている不条理演劇（抵抗の演劇）が『戦場のピクニック』である。1965年日本初演。寺山修司と交流、盟友となる。また、当作品は唐十郎、別役実のバイブルとも呼ばれており、流山児祥の演劇の原点（デビュー作）でもある。今回は舞台音楽とドルサイナの旗手：諏訪創のオリジナル楽曲、ムーブメント、宮沢賢治や岸田國士の詩的言語を加え、劇団員＋オーディションメンバーと協働作業（コラボレーション）し、総天然色の流山児★劇宇宙を創り上げる。

【ものがたり】

★プロローグ：舞台は架空のある国。ピカソの『ゲルニカ』を思わせる爆撃下の戦場から物語は始まる。破壊された家屋、老人が必死に瓦礫の山を取り除き妻に呼びかける、妻は木と木の間に挟まっているらしい。瀕死の聲がかすかに風のように聞こえる。
★二つの軍隊が対峙している「最前線」。爆撃の中、新兵：ゼボが塹壕で震えている。そこへゼボの両親がピクニックにやってくる。敵兵のザボも登場し捕虜となるも、なぜか4人は意気投合し『戦場のピクニック』を始める。
★全滅を免れた兵士たちが飢えに苦しみながらバナナ大将を待つ『飢餓陣営』。そこへ勲章をつけ飽食した大将が帰ってくる。兵たちは大将のお菓子の勲章やバナナのエボレット（肩章）を拝見すると言っては次々と食べてしまう。
★エピローグ：都市の虐殺を免れた自由の木は『ゲルニカ』に向かって立ち上がる

【F・アラバル】

スペインの劇作家。1936年、4歳のときモロッコでスペイン内戦勃発、当時陸軍中尉で、軍部のクーデターに参加することを拒んだ父親が官憲に逮捕され行方不明となった体験が後年の創作に大きく影響している。1952年、20歳で処女戯曲『戦場のピクニック』を発表。カフカ、ペケットなど不条理を主題とする作家の影響を受けながら独自の詩的世界を追求し、『ファンとリス』（1959）『ゲルニカ』（1960）『建築家とアッシリア皇帝』（1967）などを発表。『戦場のピクニック』は1959年にフランス語で、1961年にはアメリカで発表され、日本では70年代小劇場運動史の中のエポックメイキングともいえる上演回数を誇っている。



龍昇



栗原茂



上田和弘



木暮拓矢



竹本優希



本間隆斗



山川美優



流山児祥



オーディション
メンバー



塩野谷正幸
(声の出演)

2023年9月25日(月)～10月2日(月)

会場：SPACE早稲田



※受付・開場は開演の20分前より

チケット(全席自由)

●一般 / 4,200円 ●初日・2日目割 / 3,500円

アンダー25割 / 3,500円 Ryu's会員割 / 3,200円

当日 / 4,500円

オンライン予約



前売り開始
7月31日(月)
10:00

ご予約・お問い合わせ
流山児★事務所

TEL : 03-5272-1785 (平日13:00~17:00)

Email : mail@ryuzanji.com



〒162-0042 東京都新宿区早稲田町74番地 ビューロー早稲田B1

アクセス→地下鉄東西線早稲田駅1番出口(神楽坂寄り)を出て右へ。

1つ目の角を右に曲がり、中華料理店「北京」のあるビルの地下。

1番出口より徒歩1分。

Ryu's Club

会員募集中

チケットは前売料金の2割引で
お求めになれます。

WANTED
流山児★事務所
2023年度
新人募集

～西堂行人の水先案内で語る流山児祥の激的アングラ小劇場55年史～

敗れざる者たちの演劇志

全国書店・ネット書店で絶賛!発売中!!!